

3/10 大田原市出身のK-1選手

大田原ふるさと大使委嘱状交付式



市では、歴史、文化、産業などの誇れる特性をPRし市への関心度およびイメージの高揚に資するため、各方面で活躍されている方々を「大田原ふるさと大使」として委嘱しています。

この度、本市出身でK-1選手として活躍されている蓮實 光 氏を大田原ふるさと大使として委嘱しました。

「大田原市初のK-1ファイターのパワーをお送りします。」と抱負を述べられました。

3/9 新たに2件を認定

大田原ブランド認定証交付式

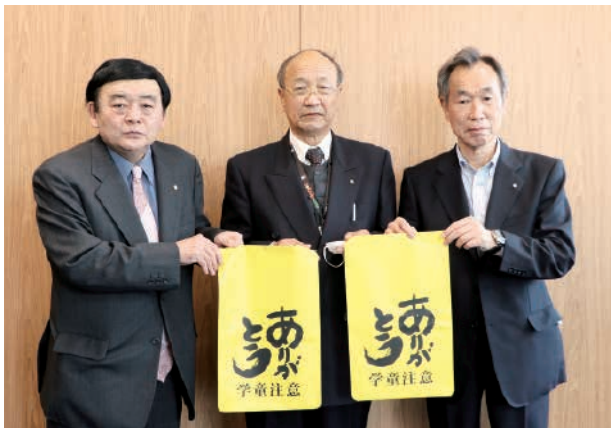


大田原市の知名度向上と産業の振興、地域活性化を目的として、本市の自然豊かな環境のもとで作られた特に優れた特産品を「大田原ブランド」として認定しています。

今回で4回目となりました認定審査において「大田原たんどん」、「古代米の食パン」の2件が新たに大田原ブランドに認定されました。

3/24 子どもたちの安全のために

新入学児童へランドセルカバー寄贈



大田原ロータリークラブ、大田原中央ロータリークラブ、黒羽ロータリークラブの3団体から、市内の新入学児童の入学を祝し、ランドセルカバーが寄贈されました。

黄色いランドセルカバーには、市の「ありがとう運動」の推進を踏まえて「ありがとう」の文字が入っており、新入学児童への交通安全の願いを込め、入学式に配付しました。

3/10 地域へ貢献

京浜精密工業株式会社 空間殺菌清浄機寄贈



京浜精密工業株式会社(本社：横浜市神奈川区)から新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、自社開発商品の空間殺菌清浄機7台が寄贈されました。寄贈された空間滅菌清浄機は、市内の各施設に設置し活用しています。

同会社からは、令和2年4月にもマスク1万枚、10月に足踏み式の消毒用ポンプスタンド5台が寄贈され、学校や学童保育施設、医療・福祉関係に配付しています。

# 津久井市長 退任

令和4年4月7日、任期満了により津久井市長が退任されました。津久井市長は、第6代大田原市長として、平成22年4月8日に就任され、3期12年にわたり、東日本大震災からの復興をはじめとして、ICT教育の推進や新型コロナウイルス感染症対策など、大田原市の市政運営に尽力されました。このたびの津久井市長の退任に伴い、永山副市長、藤原副市長、植竹教育長が退任されました。



拍手で見送られる津久井市長



花束を受け取る植竹教育長



花束を受け取る永山副市長



花束を受け取る藤原副市長

3/28

英語教育推進のために  
日本フェルト株式会社からの寄附



日本フェルト株式会社(本社：東京都北区)から英語教育推進事業のために50万円が寄附されました。

日本フェルト株式会社は大田原市に栃木工場を置き、同工場において地元採用を積極的に行っています。

今回の寄附は、中学生が英語検定試験を受験する際の受験手数料の補助に活用させていただきます。

3/28

子どもたちの成長を願って  
新入学児童へランチョンマット寄贈



J A グループ栃木から、市内の新入学児童に対し、学校給食で使う「笑みちゃんランチョンマット」が寄贈されました。

このランチョンマットは、未来を担う子どもたちに県内の農畜産物をたくさん食べ、健やかに成長することを願い作成されたものです。

寄贈されたランチョンマットは入学式に配付しました。

# みんなのひろば

市内で活躍する  
皆さまを紹介します



## 大田原油絵クラブ

投稿者：大田原油絵クラブ代表 蜂巣 貞美  
大田原油絵クラブは、総合文化会館で毎月第1、第3月曜日(1月～3月は第2月曜日)の午後5時から油絵教室を開講しています。  
日展に入選されている齋藤 勝美 先生のご指導のもと、文化協会展、栃木県芸術祭美術展などに出品しています。  
小学生以上ならどなたでも大歓迎です。興味のある方は下記までお問い合わせください。



問 クラブ代表 蜂巣 貞美 TEL 090(7412)6757  
問 文化振興課 本4階 TEL (23)3129

## 『みんなのひろば』投稿募集

問 情報政策課 本6階 TEL (23)8700  
✉ jouthou@city.ohatawara.tochigi.jp

- 応募方法  
Eメールに写真を添付し、本文に次の①～⑥を記入して情報政策課にお送りください。
- ①コーナー名
  - ・我が家の『○○』(家族や自慢のレシピなどの紹介)
  - ・いいところ撮り(市内の風景・イベント写真の紹介)
  - ・大田笑人(市内で活躍する個人・団体の紹介)
- ②写真のタイトル
- ③コメント(200文字程度)
- ④氏名とペンネーム(本名掲載を希望の場合は不要)
- ⑤住所(番地も記入。紙面には大字のみ掲載します。)
- ⑥電話番号
- 注意事項
  - \*原則として受付順に掲載しますが、応募多数の場合は過去に一度も掲載されていない方を優先します。
  - \*掲載回数の上限は1人につき月1回かつ同一年度内3回までとし、2号連続しての掲載は行いません。
  - \*掲載された場合の謝礼はありません。
- 掲載できない記事
  - ・市の品位、公共性または公益性を損なうおそれがあるもの
  - ・政治的、宗教的または選挙活動に当たるもの
  - ・営利を目的とするもの
  - ・個人、団体を誹謗中傷するもの
 ※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



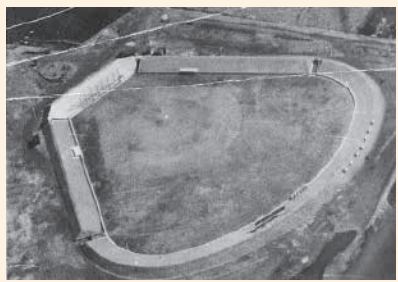
## 市史編さんだより vol.19

## 現代部会調査速報⑥ ～総合運動公園の誕生～

今回は、旧大田原市のスポーツ施設の黎明となる大田原総合運動公園(現在の美原公園)の歴史をたどります。昭和22年(1947)、当時の大田原町が旧中島飛行機製作所から6万坪の敷地を買収し、翌年には大田原総合運動公園の設置が計画されます。昭和26年(1951)、常設野球場の完成を皮切りに、昭和28年(1953)に陸上競技場、昭和29年(1954)に補助球場およびテニスコート、昭和32年(1957)に市営プール完成と続き、昭和30年代には、遊園池と児童遊園地も備えた本市初の総合運動公園となりました。

その後、昭和43年(1968)には大田原総合運動公園から美原公園へと名称を変更し、昭和46年(1971)には市営スケート場が完成して1年を通してスポーツが楽しめる環境が整いました。昭和50年代に入ると、昭和55年(1980)の栃の葉国体に向けて、昭和52年(1977)に体育研修センターの完成、翌53年(1978)に市営プールの大改修、昭和55年(1980)に第2球場の設置と、次々と公園内にスポーツ施設が整備されていきました。平成5年(1993)の県立県北体育館設置に伴う敷地の拡張を経て、現在も数多くのスポーツ施設が、市民の健康増進や余暇利用に親しまれています。(現代部会長 木下 義文)

問 文化振興課 TEL (47)5031



常設野球場完成(昭和26年)



陸上競技場の建設風景(昭和27年)



テニスコート完成(昭和29年)



市営プール完成(昭和32年)